



Hamlog2Weblog.html 使い方ガイド

このプログラムは、Turbo HAMLOG から書き出したデータを、特定の項目順に整理し、文字コードを「UTF-8(BOM 付き)」に変換して Weblog で読み込める形で保存します。

1. 準備:HAMLOG からデータを書き出す

まず、変換元となるデータを HAMLOG から用意します。

1. Turbo HAMLOG を起動し、メニューの [検索] → [複合条件検索と印刷] → [レコード番号範囲を指定] → [CSV ファイル] 選択します。
2. 形式を [CSV 形式] にして [検索なし] ボタンを押します。
 - ※この時、項目順がデフォルト(コールサインが先頭、または日付が先頭など)であっても、このツール側で自動判別・並べ替えを行います。

2. ツールの起動

1. 保存した Hamlog2Weblog.html をブラウザ(Google Chrome, Edge など)で開きます。
 - インターネット接続は不要です(オフラインでも動作します)。

3. ファイルの変換手順

1. **ファイルを選択** 画面中央の [CSV ファイルを選択] ボタンを押し、手順 1 で用意した HAMLOG の CSV ファイルを選択します。
2. **内容の確認** ファイルを選択すると、画面に「選択済み:(ファイル名)」と表示されます。
3. **変換と保存** [変換してダウンロード] ボタンをクリックします。
4. **ダウンロード完了** 自動的に weblog_日時分秒.csv という名前のファイルでダウンロードされます。

✦ このツールが行う主な加工内容

変換の際、以下の処理を自動的に実行します。

- **項目の整理(13 項目化):** HAMLOG の多岐にわたる項目を、以下の順序に集約します。日付, 時間, コールサイン, 周波数, モード, 相手 RST, 自局 RST, QSL 送付, 名前, QTH, JCC/JCG, 備考 1, 備考 2
 - **年 4 桁化:** 日付が 00/06/13(年 2 桁)の場合、自動的に 2000/06/13(年 4 桁)へ補完します。
 - **時間のクリーンアップ:** 時間項目に含まれる「J」や「U」などのアルファベットを削除し、純粋な数字と記号(例: 23:12)のみにします。
 - **文字コードの変換:** HAMLOG 特有の「Shift-JIS」から、現代の多くの Web サイトで標準となっている「UTF-8(BOM 付き)」へ変換します。これにより、Excel や Google スプレッドシートで開いても文字化けしません。
-

うまくいかない場合

- **変換ボタンが押せない:** ファイルが正しく選択されているか確認してください。
- **文字化けする:** このツールは入力ファイルを「Shift-JIS」として読み込みます。もし元ファイルがすでに UTF-8 の場合は、正しく読み込めないことがあります。